

令和3年度事業報告書

1. 令和3年度の事業概要

令和3年度は3カ年の中期経営計画の真ん中にあたる年であり、昨年度に引き続き、創立100周年に向けて掲げた学園長期ビジョン「感応の心を大切に、共に学び、高め合う、理想の学び舎を創造する。」の土台を固める1年でした。また、2年目となっても終息の見えないコロナ禍の中、ICTの活用をはじめ、今までの経験を活かし、「学びの保障」という教育機関としての使命を全うした1年でもありました。

学園では2年計画でデジタル化の推進に取り組んでおり、その一環として通信環境等の整備も進めてきました。こうした取組みにより、ICT教育の充実、デジタル化による業務効率化が着実に進展しました。感染状況によっては学年別に遠隔授業に切り替えるなど、臨機応変に対応した学校運営は保護者からも高く評価されています。また、各種システムのクラウド化により事務効率が向上し、教職員の働き方改革の推進にも寄与しました。

募集活動においても、こうして得たノウハウを活かした新しい活動を展開し、成果を上げることができました。学則定員の充足は、中期経営計画の経営目標の最初に掲げる「財務基盤の強化」の根幹と言えます。令和3年度も学園全体の学則定員数を上回り、幼稚園から大学までの園児・児童・生徒・学生数の合計は過去最高の2,542名となりました。各部門が経営目標の達成に向け、心を一つにして創意工夫を重ね、その結果、学園の総合力が高まり、教育研究活動の充実および業容の拡大に結実した1年となりました。

以下、部門別に見た令和3年度の事業概要を報告します。

こども教育宝仙大学は、大学としてのMission、Vision、Valueを策定し、Visionとして定めた「実践教育を徹底し、優れた保育者を育てる」「一人ひとりに寄り添い、優れた保育者を育てる」「90年の信頼『保育の宝仙』を受け継ぎ、優れた保育者を育てる」を、具体化し推進する「こども教育 HOSEN WAY」を企画し全教職員で取り組んでいます。令和3年度からは、次のステップとして「こども教育 HOSEN WAY II」に移行し、新たに30のプロジェクトを定め、大学改革と内部質保証に向けた取組を更に強化しています。また、建学の精神にある「仏教精神を基調とした人間教育」を更に浸透させていくため、弘法大師像を大学構内に建立し、日々仏教精神を身近に感じられる場としました。

教学面では「存在感あふれる保育単科大学を作り上げる」をスローガンに掲げ、教育の質向上に取り組みました。新型コロナウイルス感染対策では、前年度に引き続き対面授業と遠隔授業を併用したハイブリット型の授業運営を行いました。学修支援を行う教員も配置し、学修意欲の向上と中途退学防止に努め、また学生生活支援センターで、コロナ禍における学生達への経済的支援、パソコン・電子ピアノの貸し出し等、遠隔授業受講の支援を行いました。

実習に関しては、コロナ禍においても、実習園・施設との信頼関係を基礎とし、すべての実習を実施できました。また幼稚園、保育所等との信頼関係を強化しながら、現場課題の共有、解決策検討等の場として「HOSEN 保育フォーラム」を本年度からスタートさせました。

これらの取組み等により卒業生の免許・資格取得率は、幼稚園教諭一種免許状89.3%、保育士資格97.3%、免許・資格両方取得者89.3%と、いずれも高取得率に至りました。

さらに実習及びキャリアサポートにおける学生、卒業生支援の充実や、実習、就職先との更なる関係強化を図るため、令和4年度から「実習・キャリアサポートセンター」の設置を決定しました。また外国語科目の充実に向け、新たに中国語を採り入れることとしました。

社会貢献・地域連携の推進では、こども教育研究センターが中心となり、地域子育て支援室「ぷちとまと」の開催、中野区委託事業「保護者支援プログラム」開催、中野区保育実務研修への講師派遣等、コロナ禍においても可能な限り活動を継続しました。運営幹事校として活動してきた東北再生「私大ネット36」事業は、活動期間である10年が経過し、12月のシンポジウムで予定通り活動を終えました。

また令和4年度から開始するオーストラリア保育留学制度に関する学内諸規則の整備をはじめ、充実した留学が実施できるよう、本学と同様の制度を既に実施している桜花学園大学・名古屋短期大学との連携協定を締結し、情報共有に努めました。

学生募集では、新型コロナウイルス感染対策に配慮しつつ、来校型のオープンキャンパス開催、指定校・宝仙学園高等学校女子部との関係強化を柱に活動を行いました。定員割れの大学が増加し競合が激化する中、コロナ禍の影響による家計事情で専門学校・短大への進学者が増えたこと等もあり、今年度新入学者86名、編入学者1名と、入学定員の充足には至りませんでした。但し収容定員面では、400名(R4.4/1)となり定員を充足できました。

就職では、感染症拡大防止による就職活動への影響がある中、卒業生数に占める就職者率89.3%、希望者就職率は100%で、そのうち保育職就職率は91.0%でした。

また組織運営に関しては、「学校法人宝仙学園こども教育宝仙大学ガバナンス・コード」を制定し、自律的なガバナンスに向けた改善・強化を図りました。

中学高等学校共学部「理数インター」は、自己ベストの更新をスローガンとした進学校として、10回目の卒業生を送り出しました。立ち上げからかかわる者として、大学進学実績は、いわゆる難関校への合格実績も、安定して輩出できるようになってきたように感じます。新入生は、中学校209名、高等学校267名となりました。さいわいに、学則定員を満たしている状況を続けています。つづくコロナ禍で、オンライン授業を併用しつつの1年でしたが、教職員・生徒の奮闘が昨年度も、素晴らしかったと思います。

女子部は、3年前から学園の伝統文化である保育文化を担う保育コースに特化した女子校として募集を行っています。今年度から、大学のご好意を得て、70周年記念館にホームルーム教室を移し、高大接続を物心ともに近い距離感にしたつもりです。世界のダンス部をいかしつつ、こども教育宝仙大学との信頼関係を発展させていきたいと考えています。

小学校は、令和3年度、コロナ禍の続く中でも、できることを少しでも工夫して進めていこうという1年間になりました。しかしながら、年度途中に何度も緊急事態宣言の発出があったことで、全校でのオンライン学校や学年ごとのオンライン授業の実施が必要な時期もありました。ICT教育の推進は当然のことであるが、CYODによる1人1台環境の1・2・3年生、docomoとの法人契約による1人1台環境の4・5年生、学校からの端末貸し出しによる1人1台環境の6年生、という違いはあるものの、全学年でのICTを活用した学習活動を進めました。そして、GIGAスクール構想による全国的な1人1台が当たり前になることを踏まえて、さらにその先を目指した「学習者中心の授業デザインの研究」を全校的なテーマに掲げて、公開授業研究発表会を外部に向けて発信しました。その研究は、令和4年度の“教育カンファレンス”の実施へとつながっていきます。

幼稚園では、「遊びの中の学び」を大切に考え、保育の場では教員が常に意識し、様々な体験・経験を通し、各学年での子どもの育ちを生み出していました。一人ひとりの育ちを把握、確認し、進級のたびに子ども一人ひとりの今までの育ちを生かす保育を展開することを十分に意識しながら、教員間の連携を深めていきました。

また、教育計画を保護者に配布することで、本園の教育の理解を深めていただくと共に家庭教育（母親指導）の重要性を考え、母親教育に努力しました。

人として「感応の心」を育てることの大切さをもとにし、家庭と子どもの育ちや課題を確認し合うことで、園生活や家庭生活の仕方、関わり方を工夫する手立てとなりました。

新型コロナウイルス感染拡大防止措置のための、時間差（分散）登園、コロナ不安による欠席者の出席停止扱い、また学級・学年閉鎖、臨時休園等、時に応じて積極的に行い園に対しての保護者の信頼を獲得する努力を行いました。前年度からの園内環境のコロナ対策として、玄関・保育室入口等消毒液の設置、園庭遊具の消毒作業、職員室・保育室の亚克力板設置等、引き続き環境を整えました。

2. 学校法人の概要

(1) 建学の精神

創立者の目指した教育は「人を造る」教育です。そして「宗教的信念を根底においた人格教育の達成」を目標に定めました。人智を超える大いなる存在を感得することにより心豊かな人格を育み、生きる意欲を高め、豊かな人生を歩む。創立者が目指した教育は、学園に集うすべての人が、人間の本質を見つめ、そこから人間としての生き方を学ぼうという教育であります。

(2) 学校法人の沿革

① 法人設立年月日 昭和23年3月31日

② 学校設置等

昭和 2年 3月	感応幼稚園設置認可
昭和 3年 1月	中野高等女学校設立認可
昭和 10年 3月	仏教保育協会保姆養成所設置認可
昭和 14年 6月	仏教保育協会中野保姆養成所に校名を変更
昭和 19年 1月	中野保姆養成所に校名を変更
昭和 21年 11月	中野高等保育学校に校名を変更
昭和 22年 4月	新制宝仙中学校設置認可
昭和 23年 3月	新制宝仙高等学校設置認可
昭和 23年 3月	財団法人宝仙学園設置認可
昭和 26年 3月	学校法人宝仙学園に組織変更
昭和 26年 3月	中野高等保育学校を廃止し、宝仙学園短期大学保育学科を設立
昭和 27年 11月	宝仙学園小学校設置認可
昭和 29年 10月	感応幼稚園を宝仙学園幼稚園と園名を変更
昭和 29年 10月	宝仙中学校を宝仙学園中学校と校名を変更
昭和 29年 10月	宝仙高等学校を宝仙学園高等学校と校名を変更
昭和 39年 1月	宝仙学園短期大学生生活芸術科設置認可
平成 9年 4月	宝仙学園短期大学生生活芸術学科を造形芸術学科に名称変更認可
平成 10年 4月	宝仙学園短期大学専攻科造形芸術専攻設置認可(学位授与機構認定)

- 平成 19年 4月 宝仙学園中学校共学部「理数インター」を開設
 平成 20年 10月 こども教育宝仙大学こども教育学部幼児教育学科設置認可
 平成 21年 4月 こども教育宝仙大学こども教育学部幼児教育学科開学
 平成 21年 4月 宝仙学園短期大学保育学科学生募集停止
 平成 22年 4月 宝仙学園短期大学廃止

(3) 設置する学校・学部・学科等 (令和3年5月1日現在)

設置する学校	開校年月	学部・学科等
こども教育宝仙大学	平成21年4月	こども教育学部幼児教育学科
宝仙学園高等学校	昭和 3年4月	全日制 (普通科)
宝仙学園中学校	昭和22年4月	
宝仙学園小学校	昭和28年4月	
宝仙学園幼稚園	昭和 2年4月	

(4) 学校・学部・学科等の学生数の状況 (令和3年5月1日現在)

学 校 名	入学定員数	収容定員数	現員数	備考 R4.5.1
こども教育宝仙大学	100	400	396	400
宝仙学園高等学校	245	735	762	788
宝仙学園中学校	135	405	662	644
宝仙学園小学校	70	420	453	452
宝仙学園幼稚園	—	315	269	255

(5) 役員の詳細 (令和3年5月1日現在)

区 分	定 員 数	現 員 数	常勤・非常勤
理 事	7～10人	10人	常 勤—8人 非常勤—2人
監 事	2人	2人	非常勤—2人

(6) 評議員の詳細 (令和3年5月1日現在)

区 分	定 員 数	現 員 数	常勤・非常勤
評議員	19～28人	21人	常 勤—12人 非常勤— 9人

(7) 教職員の概要 (令和3年5月1日現在)

区 分	大 学	高等学校	中学校	小学校	幼稚園	本 部	合 計	
教 員	本務	19	42	38	27	16	0	142
	兼務	19	35	18	0	4	0	76
職 員	本務	15	8	4	2	3	7	39
	兼務	5	4	4	3	3	1	20

3. 事業運営の概要

理事会、評議員会では、決議事項、報告事項等について討議及び承認が行われました。会議内容は以下の通りです。

(1) 理事会開催の状況・・・令和3年度開催回数6回

<主な議案>

- ・役員、評議員の改選
- ・令和2年度事業報告
- ・令和2年度収支決算
- ・令和3年度補正予算
- ・令和4年度経営計画・収支予算計画
- ・学園規則類の制定・改廃
- ・資産の売却
- ・校舎建替え（創立100周年事業）の計画策定

(2) 評議員会開催の状況・・・令和3年度開催回数5回

<主な議案>

- ・監事、理事の改選
- ・令和2年度事業報告
- ・令和2年度収支決算
- ・令和3年度収支補正予算
- ・令和4年度経営計画・収支予算計画
- ・資産の売却

(3) 監事業務の状況

- ・理事会、評議員会への出席状況（理事会7回、評議員会5回 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため意見書提出出席3回）
- ・監事監査の実施（会計監査2回、業務監査3回、監査方針打合せ会1回）

(4) 法定監査の状況・・・令和3年度実施回数16回

- ・監査法人による会計監査の実施

(5) 令和3年度の主な教育活動

<大 学>

- ・2020年度2021年度合同入学式（R3.4/2）
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策のためハイブリット型授業開始（R3.4/6）
- ・本学園幼稚園での体験学習（R3.6/10・24、7/5、11/18・19・22）
- ・教育実習（実習期間 R3.5/10～7/9）
- ・保育実習Ⅰ（施設）（実習期間 R3.7/12～R.4.4/12）
- ・学生向けワクチン接種（R3.8/25・26、9/15・16）
- ・「HOSEN こどもフェスティバル 2021」開催（R3.11/14）
- ・保育実習Ⅱ・Ⅲ（保育所・施設）（実習期間 R3.11/15～R4.3/16）
- ・第12回図書館講演会開催（R3.12/4）
- ・東北再生「私大ネット36」シンポジウム（オンライン R3.12/18）

- ・大学入学共通テスト 東京女子大学と共同実施 (R4. 1/15・16)
- ・保育実習 I (保育所) (実習期間 R4. 1/31～3/30)
- ・卒業研究発表会 (Zoom形式で実施 R4. 3/4)
- ・第10回学位記授与式挙行政 (R4. 3/19)
- ・こども教育研究センター「2021年度 活動報告書」発行 (R4. 3月)
- ・子育て広場「ぷちとまと」開催 (R3. 7/8、10/7・21、11/11・25、12/9、 R4. 1/13)
- ・中野区委託事業「保護者支援プログラム」開催 (R3. 9/15、12/4、 R4. 2/4)
- ・「中野区保育実践研修」に講師として本学教員派遣 (R3. 9/17・21、12/14・21)
- ・「HOSEN 保育フォーラム」開催 (R4. 2/26)

< 中学・高等学校 >

(共学部)

- ・4/5 入学式 (対面)
- ・4/30 5/1 オンライン授業 5/10-18 40分短縮授業
- ・高校体育祭/アミノバイタルフィールド (中止)
 - 高3 (5/20) 高1 (7/12) 体育祭 (グラウンド)
 - 高2 (7/13) 体育祭 (等々力アリーナ)
- ・中学体育祭 グラウンド (6/18)
- ・ニュージーランド語学研修 (中止)
- ・マルタ研修 (中止)
- ・セブ島語学研修校内 (中止)
- ・中1 林間学校/水上高原 (中止)
- ・9/1 2学期始業式～9/11 オンライン授業
- ・宝仙祭 (中・高) (10/23)
- ・中1 ネイチャープログラム/江の島・鎌倉 (11/5)
- ・中2 長崎研修旅行 (11/6-8)
- ・中1 十三詣り (11/13)
- ・中3 沖縄研修旅行 (11/18-21)
- ・高2 沖縄研修旅行 (11/21-24)
- ・中1 遠足/相模湖プレジャーフォレスト (11/22)
- ・中学グローバル・ALコース英語プレゼンテーションコンテスト (11/27)
- ・高3 冬期講習 (12/7-10, 13-14, 20-21, 22-25, 1/4-7)
- ・中高冬期講習 (12/22-25)
- ・中学合唱祭/中野ゼロホール (中止)
- ・高1 関西研修旅行 (1/17-19)
- ・中3 卒業プレゼンテーション (1/29)
- ・中2 職場体験 (中止)
- ・中学英語プレゼンテーションコンテスト (2/19)
- ・高校英語プレゼンテーションコンテスト (3/12)

(女子部)

- ・ 4/5 入学式 (対面)
- ・ 4/6 始業式 (対面)
- ・ 4/16 交流会 (新入生歓迎会)
- ・ 4/23 こども教育宝仙大学内部説明会 (ⅡⅢ年生対象)
- ・ 4/30 江ノ島郊外学習 (緊急事態宣言のため11/16に延期)
- ・ 5/26 こどもの権利についての出張授業 (中野区こども政策課との企画)
- ・ 5/29 体育祭
- ・ 6/2 高Ⅲ宝仙学園幼稚園実習 (事前にPCR検査を受けての実施)
- ・ 6/9 高Ⅱ宝仙学園幼稚園実習 (事前にPCR検査を受けての実施)
- ・ 夏期講習 (中止)
- ・ 高Ⅱ・Ⅲ研修旅行 (中止)
- ・ 高ⅡⅢ近隣保育園実習 (中止)
- ・ 11/4 芸術鑑賞会 (R3.3/4)
- ・ 11/15 Hosen Art Festival (西東京市こもれびホール)
- ・ 11/16 江ノ島郊外学習
- ・ 11/29 KAPLAワークショップ
- ・ 冬期講習
- ・ 1/15 音楽祭 (中止)
- ・ 新高Ⅰ春の勉強会 (中止)

<小学校>

- ・ 安定した入口と出口の成果を確認
- ・ サッカー、金管バンド、笛クラブなど朝の課外活動は休止
- ・ 学校改革の研修会は、年間講師に平井聡一郎氏を招聘し実践
- ・ 学習者中心の授業デザインをテーマに公開授業研究発表会を実施
- ・ ICT化の環境では、1・2・3年生がCYODによる1人1台iPad、4・5年生がdocomoとの法人契約による1人1台、6年生が学校から貸し出す1人1台
- ・ 広報担当、入学対策担当のホームページ・スクールガイド等を含めた対応力の充実
- ・ 宝仙小の未来設計の柱として「アドミッション・カリキュラム・ディプロマ」の3つのポリシーをより広く周知
- ・ 保護者への教育活動報告の場として「Hosen教育レポート」の発信
- ・ 保護者対象のICT研修会や体験会を実施し、情報モラルや情報リテラシー(株・教育ネット)について学ぶ場を設定
- ・ 校内研究は、研究テーマ「主語が学習者となる、学びのデザイン」を掲げ、教員がチームとなって授業研究を行う「チーム研究」を実施
- ・ 卒業時に目指すべき児童の姿を示す「ディプロマポリシー」を具現化する、資質・能力を「コンピテンシー10」として表し、授業研究の核として進める
- ・ 行事について
5月から1月までの期間 各学年で進級遠足は時期をずらして学年ごとに1回実施
10月と2月 父母授業参観はオンラインで実施

- 6/16～18 6年生修学旅行は、長野県方面に変更して実施
*6年以外の宿泊行事、スキースクール、イングリッシュキャンプは中止
- 10月中 運動会は学年ごとに運動イベントとして企画し実施
- 10月後半 宝仙祭は図工作品展を実施
- 2/15 6年生を送る会はオンラインで実施
- 3/2 卒業研究発表会はオンライン配信とのハイブリットで実施
- 3/13 卒業式は簡略化して実施（保護者2名までの参加とオンライン配信のハイブリット実施）

<幼稚園>

- ・コロナ禍による保育環境の整備／時間差（分散）登園、行事内容縮小
- ・戸外遊びの充実／年齢に応じた戸外あそびの工夫
- ・英語教育／全学年ともに原則週1回
- ・リトミック活動／全学年ともに原則月1回
- ・本学園小学校との連携教育活動／理科実験教室（3回）
- ・本学園大学との連携教育活動／宝仙祭活動（コロナ禍のためなし）
- ・園内研修の充実／年間テーマ「幼稚園改革 ～古きよきものと新しくすべきこと～」
「宝仙で大切にしたいこと、新しくしたいこと」(R3. 5/28)
講師：樋田喜代子先生
「研究保育 山組（4歳児） 子どもの育ちを考える」(R3. 7. 17)
「広報活動の進め方」 講師：樋田喜代子先生 (R3. 8/30)
「広報活動、実践の振り返り」 講師：樋田喜代子先生 (R3. 12/2)
「1年の振り返りとまとめ」及び「次年度に向けて」(R3. 3/16)
- ・仏教行事／花まつり・両大師祭（5歳児のみ）、みたままつり（4・5歳児と満3歳・3歳児に分けて開催）
おつとめ(学年別8回) 地藏祭（7回）
- ・避難訓練、防犯訓練の実施（年間4回）、AED講習会開催（R3. 11/15）
- ・公開保育・体験入園・入園説明会／2・3年保育と満3歳関係と実施時期を分け行う
入園説明会：特に制限なし対面で行う
体験入園・公開保育：予約制人数制限ありで行う
- ・進学講演会開催／中止
- ・母の会主催講演会／R4. 1. 20「改めてアタッチメントの大切さについて考える」
講師：東京大学教授 遠藤利彦先生
- ・「楽しい子ども会」実施／園児表現活動の保護者参観（R4. 2/14～18）
クラス単位、時間短縮のため内容縮小、人数制限ありで行う
- ・中央線沿線私立幼稚園合同説明会／制限ありの実施のため資料のみ配布

<全学園>

- ・創立者忌日法要 (R3. 6/29) 参列者：各部門の役職者 (管理職以上)
園児・児童・生徒・学生はオンラインで視聴
- ・「宝仙祭」の開催：新型コロナウイルス感染拡大防止のため、部門ごとに開催
大学 (R3. 10/23～R3. 11/22) 部門テーマ「鴻雁于飛 (こうがんうひ) 学内展示
中学・高等学校共学部 (R3. 10/23) 部門テーマ「microscope」作品上映、展示
高等学校女子部 部門テーマ「楽しみつくす！」映像作品、バトン部
小学校 (R3. 10/22～24) 「児童作品展&Enjoyほうせん」オンラインワークショップ
幼稚園 (R3. 10/23～24) 「子どもの作品展」作品展示
- ・長谷寺仏教研修：(中止)

(6) 令和3年度の主な事業活動

<学園の活動>

- ① 学園経営の改革・改善及び学園運営に関する事項
 - ・宝仙学園 ICT 推進・管理規程改正 (R3. 4/1施行)
 - ・宝仙学園寄附行為改正 (認可申請中)
 - ・宝仙学園小学校学則改正 (R4. 4/1施行)
 - ・こども教育宝仙大学こども教育学部幼児教育学科履修規程履修規程改正 (R4. 4/1施行)
 - ・こども教育宝仙大学こども教育学部幼児教育学科履修規程履修規程改正 (R4. 4/1施行)
 - ・こども教育宝仙大学学生国外保育留学規程制定 (R4. 4/1施行)
 - ・こども教育宝仙大学学則改正 (R4. 4/1施行)
 - ・宝仙学園教学組織規則改正 (R4. 4/1施行)
 - ・宝仙学園事務組織規則改正 (R4. 4/1施行)
 - ・こども教育宝仙大学入学センター設置規程改正 (R4. 4/1施行)
 - ・宝仙学園高等学校学則改正 (R4. 4/1施行)
 - ・宝仙学園給与規定手当支給基準表改正 (R4. 4/1施行)
 - ・こども教育宝仙大学学術研究倫理に係る規程改正 (R4. 2/14施行)
 - ・学校法人宝仙学園こども教育宝仙大学ガバナンス・コード制定 (R4. 4/1施行)
 - ・宝仙学園育児・介護休業等に関する規定改正 (R4. 4/1施行)
 - ・宝仙学園人事評価制度実施規程改正 (R4. 4/1施行)

教育環境整備の推進状況

- ・大 学 1 4 2 教室改修及び備品設置 (194万円)
1号館屋上環境整備 (74万円)
電子ピアノ取替更新 (170万円)
図書館改修及び備品取替更新 (206万円)
弘法大師像建立 (236万円)
教務システムバージョンアップ等 (252万円)

- ・中 高 校内廊下等クロス貼替・塗装工事 (240万円)
 - 校舎照明器具・誘導灯LED化工事 (1,500万円)
 - 生徒用机・椅子追加購入 (290万円)

- ・小学校 児童用机・椅子取替更新 (60脚) (160万円)
 - 音楽室スツール取替更新 (40脚) (230万円)
 - 授業用PC追加設置 (4台) (70万円)
 - 図書管理システム更新 (65万円)
 - 第2音楽室グランドピアノ取替更新 (240万円)
 - 無線LANアクセスポイント増築工事 (28台) (460万円)
 - 理科室実験用天板交換工事 (100万円)

- ・幼稚園 1階シャワー室改装 (200万円)
 - テラス園庭用靴カバー設置 (100万円)
 - カラー印刷機取替更新 (300万円)
 - iPad 16台導入 (導入費 80万円 通信費 46万円)
 - 園舎内無線LAN回線設置 (100万円)
 - 園舎空調設備全交換工事 (4,300万円)

② 学園運営管理施策の推進状況

- ・令和3年度監事への経営報告会の実施 (年3回)
- ・令和4年度経営計画の部門別検討会の実施 (R04.1/21~1/26)